



里山部会

★8月10日(日) ~雨のため中止~

部会長 佐藤 謙治

*8月の里山部会は、地域貢献水路清掃・竹炭の袋詰め・ナラ枯れ伐採・ヒノキ林の長伐期施業への密度調査と間伐計画の活動予定でした。しかし、8日ぐらいより九州⇒山口と大雨警報が出ており当日も雨予想。林冠が成長しナラ枯れ木が散材した森林の成熟段階の小川フィールドでは、落枝・水路氾濫・土砂流失・転倒・雨具着衣による熱中症等の危険予知で中止としました。一番の気がかりな地域貢献水路清掃

活動は、地域の世話役をされている新宅様にも相談し、9月実施に変更しました。

さて、今月は、里山部会報告に代わり、現在妙国寺フィールドで取り組んでいるコナラの更新法体験について中間報告します。

森林の更新方法には、人工更新法(苗木・種子)、天然更新法「有性繁殖(上方下種法・側方下種法)・無性繁殖(萌芽法・伏条法)」があります。昨年伐採したコナラに、今年の4月萌芽を確認。このフィールドも鹿による食害が多く、萌芽の新芽が食害に会い、育ちませんでした。この度「玉ねぎネット」で食害防止にチャレンジ。7月に成長を確認しましたが2m近く成長。1950年代の燃料革命以前は、伐採後15年から20年のサイクルで炭や椎茸・榎木・薪などの特用林産物として利用されてきました。人工更新法より遥かに成長が早いことを実感しています。*樹木よりの萌芽は10本ほど芽吹き、幼木ができます。その中で優良幼木2~3本を育成します。



コナラ萌芽の様子



★8月2日(土) 9日(土) 9:00~15:00 参加者12名 部会長 岩田 幸信

猛暑が続く2日間でしたが、両日も8月、9月に使用する「子どもデイサービスゆうゆう」での作品について意見を交わしながら準備を進めていきました。作品は「カレンダーの作成」



カレンダーの部材製作



カレンダー試作品

に決まりました。しかし、子ども達が限られた時間の中で、どこまで作れるか、作らせるかで色々な見解が出て、悩み、試作品を作りながら、9日には、ようやく8月に使う部材の準備作業を進めることができました。また、併せて、環境研究部会が23日(土)に、松ヶ原の集会所で開催された「こぶしの里」に出品する、トンボの部材作成にも協力しながらの作業となりました。

クラフト部会



環研部会

★8月23日(土)「こぶしの里」(大竹市松ヶ原)にてクラフト制作

参加者:25名、倶楽部スタッフ:11名 部会長 佐々木 綾子

“もりメイトキッズ”フィールドのある松ヶ原では、毎週土曜日に自治会主催による「こぶしの里」を開催。地元の新鮮野菜等を販売しています。当日は、この「こぶしの里」でクラフト製作のイベントを行い、たくさんの方にご参加いただきました。



今回の作品は竹材を利用した「トンボ」。もりメイト倶楽部のスタッフと、地元の木工クラフト職人の北さんのおかげで4種類のトンボを用意。見本にしていたトンボのクオリティの高さに四苦八苦しましたが、難題に挑むのが、我がもりメイトのスタッフ。難関を乗り越え夏休みの宿題のごとく準備に励み、その甲斐あって、スタッフが準備した材料をもとに参加者が思い思いの作品を製作しました。

今回も、個性がキラリと光る作品が出揃い、世界にひとつしかない作品を手にして、みんな笑顔で応えてくれました。

